

農業部の業務内容

地域の気象条件や立地条件を活かした農業・農村の振興を図るため、「県産農産物の需要拡大」を核に、地域農業を担う中核経営体の確保・育成や、需要に即した品目の生産拡大を推進しています。

【集落営農法人等の育成】

集落営農法人連合体や農業経営・就農支援センターなどの関係機関と連携し、法人化や規模拡大、新規就業者の受入等の経営強化を支援し、地域の中核となる組織経営体の育成を図るとともに、農外企業参入と定着を支援し、効率的な土地利用型農業の実現に向けた生産構造の改革を進めます。



集落営農法人の雇用に向けた勉強会



集落営農法人による大豆の合同巡回調査

【農山漁村女性リーダー・やまぐち農林水産業ステキ女子の育成】

地域の主要な担い手である農山漁村女性が主体的に活動に参画できる環境や体制を整え、農山漁村女性リーダーの育成を進めます。また、農業経営に取り組む若手女性に対し、ネットワーク構築や能力向上に向けた研修会を開催し、自信とやりがいをもって農業に取り組める女性を育成します。



柳井地域農山漁村女性のつどい



柳井・大島地域農業女子会

【新規就業者の確保・定着】

就農ガイダンス、産地ツアーや各地域の営農塾等で新たな担い手候補の掘り起こし活動を支援するとともに、各種支援策を効果的に活用し、新規就農者等の確保・育成を進めます。



やまぐち就農ゆめツアー

【安心・安全な農産物の供給】

農業生産工程を適切に管理する認証制度である国際基準 GAP 等の導入を推進するとともに、化学農薬・化学肥料の使用を50%以上削減した「エコやまぐち農産物」の認証等を活用し、安心・安全な農産物の生産拡大を図ります。



エコ農産物（アスパラ）の栽培状況

【需要者ニーズに応える農産物の結びつき強化・生産拡大】

集落営農法人を重点対象に条件整備を支援し、米を中心に大豆・小麦を効率的に組み合わせた土地利用の高度化を進めるとともに、法人間連携をはじめとする、省力・低コスト化に向けた生産体制の整備を進めます。



大豆栽培研修会



小麦の巡回調査

いちごやアスパラガスなど施設野菜の栽培技術の向上や販売対策、後継者確保に取り組むことにより産地拡大を進めます。



いちご栽培講座の開催

せとみ（ゆめほっぺ）を中心に、生産条件の整備や栽培技術の向上を図ることにより、収量や品質を向上させるとともに、JA出資法人と連携して優良樹園地の確保や後継者確保による産地の維持・拡大を進めます。



JA出資法人・地区若手農家による中間管理作業

キャベツ、タマネギなどの土地利用型野菜の低コストで効率的な生産体制の構築を図るとともに、価格安定に向けた販売体制の構築に取り組み、産地拡大を進めます。



加工業務用キャベツの栽培

やまぐちオリジナルリンドウ（西京シリーズ）の導入を推進し、栽培技術指導等を行うことで、産地拡大を進めます。



リンドウ栽培の様子